

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	民生委員児童委員協議会事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	石戸 敏久				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	民生委員児童委員	意図	民生委員児童委員が活動しやすいように会議、研修、連絡調整、資料・情報提供等し支援する。
事業内容	民生委員児童委員の会議（理事会・地区会議）の開催、合同研修会開催、職務に関する連絡調整、福祉事務所その他県庁行政機関との連絡、必要資料・情報収集、職務に必要な知識・技術の習得支援、職務遂行に必要な事項の処理、職務に関して必要と認める意見の関係各庁への具申を行う。事業は、流山市社会福祉協議会に委託している。			
事業開始から現在までの状況変化	民生委員法に定められた組織。民生委員児童委員の会議（理事会・地区会議）の開催、合同研修会開催、職務に関する連絡調整、福祉事務所、その他関係行政機関との連絡、必要資料・情報収集、職務に必要な知識・技術の習得支援、職務遂行に必要な事項の処理、職務に関して必要と認める意見の関係各庁への具申を行う。事業は流山市社会福祉協議会に委託している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	民生委員児童委員数	157	157	156	人	↑↑↑
②	民生委員児童委員会議数	108	82	87	回	↓↓↓	理事会、総会、合同研修会、地区定例会、主任児童委員連絡会等
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
流山市社会福祉協議会へ委託し、民生委員児童委員の適正な活動・協議会の運営を行った。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	8,453,970	8,449,860	8,446,640
事業費(b)(円)	8,170,000	8,170,000	8,170,000
うち一般財源	7,686,000	7,581,250	7,585,000
職員給与費(c)(円)	283,970	279,860	276,640
人役・職員(人)	0.03	0.03	0.03
人役・再任用(人)	0.02	0.02	0.02
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	担当課職員は、月1回の理事会には必ず出席する。地区会議は、現状では全ての出席は難しい。	③取組における課題(Check)	理事会への担当課職員の出席は、継続していく。地区会議は、8か所あるため、出席は難しい状況である。
②H30に実施した取組(Do)	担当課職員が、できる限り理事会に出席した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	担当課職員は、理事会へは必ず出席する。地区会議は9か所に増えるが、できる限り出席する。